



## 平澤真希さんピアノコンサート 1月16日

伊那市上牧出身・在住のピアニスト 平澤真希さんが、ミニコンサートに来ていただきました。

世界中の有名な作曲家を紹介し、ポーランド出身のショパンの「黒鍵のエチュード」を最初に弾いてくれました。真希さんは、16年間ポーランドで暮らしていたそうです。久しぶりに日本の伊那市に帰ってきてこれまで当たり前に見ていた景色、山や川が違って見えたそうです。天竜川をモチーフにして龍(ドラゴン)の曲を作った時のことをお話してくれました。諏訪大社に行って雨を降らす龍神のことを取材したり、雨の日に木下の南宮神社の大きな木の下で雨の音を聞いたりして、龍の曲を作ったそうです。オリジナル曲「天への回帰～龍」という曲は、しずくの落ちる小さな音から始まり、



荒れ狂う天竜川の流れや、雨を降らす龍が天に帰っていく様子などを、壮大なスケールで表現した曲。子ども達は全身を研ぎ澄ませ、真剣に聞き入っていました。

最後は、音楽会にみんなで歌った「ふるさと」を真希さんの伴奏で歌いました。三番の「志を果たして」という歌詞について、「みなさんは何のために生まれてきたのかわかる？一人ひとり、使命をもってこの地球に生まれてきたんだよ。‘ころざし’を果たすために、好きなことを一生懸命やってください」とお話がありました。

3月29日は、デビュー30周年記念ピアノリサイタルが伊那文化会館であるそうです。多くの子もたちに大ホールでの演奏を体験してほしいと、小中学生は入場無料だそうです。



## 1月28日 児童会立会演説会・選挙

児童会立会演説会と選挙が行われました。候補者と推薦責任者の4人は、クラスの友達の前で何度も練習したり、6年生の前で発表してアドバイスをもらったりと、演説練習をたくさんして当日を迎えました。当日までの数日間は、人前に立って話すことへの緊張で、不安な日々を送っていたと思います。その緊張や不安としっかり向き合い、当日大勢の人前で堂々と演説することができました。

3年生は、この児童会長選挙から児童会の仲間入り。選挙管理委員会の2人も、張り切って仕事をしていました。4年生も、一つ学年が上がり、6年生を支えていく立場になります。5年生は、候補者と推薦責任者以外の人



も、みんなで手良小学校児童会を作っていこうと、選挙活動や選挙管理委員会の仕事など、熱がこもっていました。6年生は、あと少しで卒業を迎えますが、手良小学校が更により良くなってほしいという願いをもって、真剣に選挙に臨んだと思います。

6年生が先頭に立って引っ張ってきた児童会、そのたすきを5年生が受け取り、思いをつないでいってくれることを期待しています。



## 令和8年度「読み聞かせボランティア」募集

現在手良小学校では、読み聞かせボランティアさんを募集しています。

読み聞かせボランティアは、5月から2月まで年8回と12月の読書旬間中に児童に授業中に1時間「お話の会」を行っています。(来年度は、5/2・6/9・7/7・9/8・10/6・11/10・12/8・1/12・2/2 予定。8時30分～40分です。目安として8時20分頃にお越しください)

\*ボランティアのみなさんで交代しつつ、読み聞かせを行ってくださっています。子どもたちの為に、ぜひご協力いただければと思います。

お問い合わせ、申し込み先は手良小学校までよろしく願いいたします。(担当:奥原・清水)



## 1月29日オペレッタ保育園公演



4年生は総合的な学習の時間に、手良地区にある様々な祈りの場所について学習し、自分たちのオリジナルオペレッタ「祈りの里・手良」を作り、2月1日のオペレッタフェスティバルに向けて練習を重ねてきました。

本番を目前にしたこの日は、手良保育園のリズム室にお邪魔して、園児の皆さんの前でオペレッタを発表しました。園児の皆さんには難しい内容もありますが、未満児



の皆さんも真剣に見入ってくれました。

歌ったり踊ったり、セリフがあったり、自分たちで考えたオペレッタは、たくさんの思いが込められています。

## 2月5日1～4年生 スキー教室



穏やかな天候に恵まれ、1～4年生が伊那スキーリゾートにてスキー教室を行いました。

開校式では5人のインストラクターが紹介されました。1年生は初めてスキーをする人が多く、一人ひとりスキー靴のはき方をチェックしてくださり、スキー板を片足だけつけて、歩く練習から始めました。



午前2時間しっかり滑った後は、おいしいカレーライスの昼食。何度もおかわりしたひともいたようです。

閉校式では、各学年の代表者が感想を発表しました。「たくさん滑って楽しかった。」「もっと滑りたいと思った。」「前よりうまくなってうれしい。」など、みんなとても充実したスキー教室だったことがわかりました。

## 2月6日 MBL 出前授業



2月6日に MBL「医学生物学研究所」による出前授業が行われました。

前半は、MBL で行われている業務内容や研究について話していただきました。MBL では「人々の健康な命を守る」ことを使命に、診断薬(健康を診断するための検査で使われる薬)や、臨床検査薬(インフルエンザやコロナの検査キットなど)の開発を行っているそうです。難しい内容でしたが、図やイラストが入ったスライドを用いて説明していただいたので、一生懸命話を聞いていました。子どもたちにとって、インフルエンザウイルスやコロナウイルスはとても身近なものなので、特に抗

体や検査器具の話に夢中になっていました。

後半は、ヒト由来の培養細胞を顕微鏡で観察させていただきました。理科の授業で見るものよりも鮮明に映っていたので、「すごい!」と歓声があがっていました。普段見ることのできないものなので、何度も列に並んで観察する子もいました。

「建物は見たことあるけれど・・・」という子も多かったので、自分の地元の企業に興味をもつ良い機会となりました。

